

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2010-142625

(P2010-142625A)

(43) 公開日 平成22年7月1日(2010.7.1)

(51) Int.Cl.	F 1	テーマコード (参考)
A 4 7 K 17/02 (2006.01)	A 4 7 K 17/02 Z	2 D 0 3 7
E 0 3 D 9/00 (2006.01)	E 0 3 D 9/00 F	2 D 0 3 8

審査請求 未請求 請求項の数 1 書面 (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願2008-336139 (P2008-336139)
 (22) 出願日 平成20年12月18日 (2008.12.18)

(71) 出願人 509022288
 谷本 政彦
 大阪府摂津市正雀3丁目19番12号
 (72) 発明者 谷本 政彦
 大阪府摂津市正雀3丁目19番12号
 Fターム(参考) 2D037 BA22 BA23 BA24
 2D038 ZA02

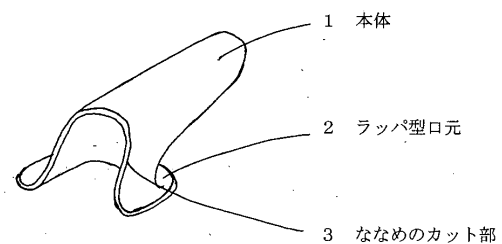
(54) 【発明の名称】 洋式トイレ用男性勃起時排尿補助具

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】洋式トイレにて、男性が勃起時に腰掛けて排尿をする場合において、小便を確実に便器のボウル内に導入できる、構造が簡単な男性用勃起時排尿補助具を提供する。

【解決手段】プラスチック又は、紙製にてラッパ型口元2の尿瓶の入り口を斜めカット3した形状にて成形加工することによって立体的形態の排尿補助具1にし、これを男性器に嵌めて使用することで勃起時でも便器外部に小便が飛散し便器や床などを汚すことを防止する。

【選択図】図1



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

プラスチック製、又は、紙製の尿瓶型（１）の口部（２）にななめにカット（３）を設けて成形された物を特徴とする男性勃起時補助具。

【発明の詳細な説明】**【技術分野】****【０００１】**

この発明は、男性が勃起時に洋式トイレにて排尿をするために使用する、プラスチック製、又は、紙製を素材とした補助具に関するものである。

【背景技術】

10

【０００２】

従来は、男性が勃起時に洋式トイレにて排尿をする時は、立ってするか便座に座ってするかにかかわらず、男性の一物を押えてする必要がある。その時に圧迫され、大変出しにくく不快感があった。

【発明の開示】**【発明が解決しようとする課題】****【０００３】**

これは次のような欠点があった。

従来、男性が勃起時に洋式トイレにて排尿するときは、男性の一物を押えてするが、手元が狂うと飛散して便器や床を汚してしまう事があった。

20

本発明は、以下のような欠点をなくすためになされたものである。

【課題を解決するための手段】**【０００４】**

補助具本体（１）のななめに開いたラッパ型の尿瓶のようなコップ（２）に、その口元をななめにカット（３）を設けた。

本発明は、以上のような構成よりなる洋式トイレ用男性勃起時排尿補助具である。

【発明の効果】**【０００５】**

補助具の下部が半ラッパ型（２）なので、便座の開いた端が座って前方へスライドさせた時にひっかかる（図３）ので排尿時には半ラッパ部分から便器内に垂れ流されます。

30

その構成から飛散による便器や床を汚す事無く排尿する事が出来ます。

【発明の実地するための最良の形態】**【０００６】**

以下、本発明を実地するための最良の形態について説明する。

補助具本体（１）のななめに開いたラッパ型の尿瓶のようなコップ（２）に、口元をななめにカット（３）を設ける。

本発明は、以下のような構成でこれを使用する時は、便座に座る前に男性の一物にかぶせ、その時に半ラッパ型の開いた方を下にして深く腰掛けます。次に自分の前方へスライドさせ、半ラッパ型の開いた部分と便座の開いた端がひっかかる様にします。後は、楽な姿勢で排尿して下さい。

40

【図面の簡単な説明】**【０００７】**

【図１】 本発明の斜視図である。

【図２】 本発明の側面図である。

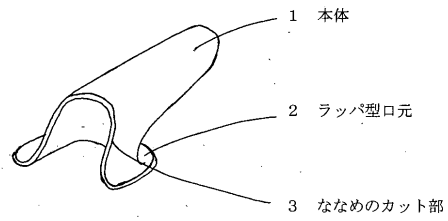
【図３】 本発明の使用状態を示した側面図である。

【符号の説明】**【０００８】**

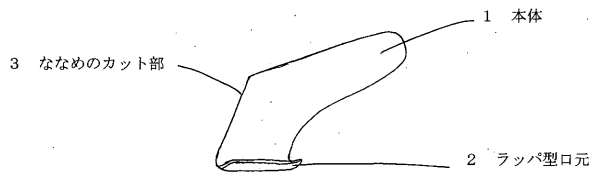
- １ 本体
- ２ ラッパ型口元
- ３ ななめのカット部

50

【図 1】



【図 2】



【図 3】

